

■ 支 部 だ よ り ■

北海道・東北支部のうごき

平成20年度全国環境研協議会北海道・東北支部総会(平成20年5月開催)までの活動状況を既に報告していますので、その後の動きを報告します。

1. 環境測定分析統一精度管理ブロック会議

北海道環境科学研究センターが担当機関となり、開催されました。会員等13機関、23名の出席があり、調査結果の報告、特別講演、ディスカッションが行われました。会議の概要は次のとおりです。

- ・期日：平成20年7月30日(水)
- ・場所：JST イノベーションプラザ(札幌市)

(1) 議事

①環境測定分析統一精度管理調査について

環境省から調査目的、調査計画等について説明がありました。

②平成19年度環境測定分析統一精度管理調査結果について

財団法人日本環境衛生センターから調査結果の概要報告がありました。

(2) 特別講演

環境測定分析における砒素・セレン等の測定について

独立行政法人産業技術総合研究所
計測技術研究グループ長 田尾博明

(3) ディスカッション

北海道環境科学研究センターの横山環境保全部長が座長となり、関係自治体から提出された事項について、4名の助言者を交えて活発な議論が行われました。

① 基礎精度管理調査

- ・塩化水素に係る公定法について
- ・試料の保存容器の材質と保存性について
- ・イオンクロマトグラフ法による分析の留意点等について

② 環境測定の精度管理

- ・環境測定分析の外注に関する精度管理実情調査について

2. 第34回北海道・東北支部環境研研究連絡会議

宮城県保健環境センターが担当機関となり、開

催されました。全13機関、44名の出席があり、各テーマについて討論が行われました。会議の概要は、次のとおりです。

- ・期日：平成20年10月2日(木)～3日(金)
- ・場所：仙台市戦災復興記念館(仙台市)

(1) 共通課題討論会

第一分科会(大気、大気汚染常時監視関係)・光化学オキシダントの状況について

第二分科会(水質関係)

- ・海域におけるCODの上昇傾向について
- ・河川等の水質事故の対応について

第三分科会(化学物質関係)

- ・アスベスト分析について

(2) 共通課題討論会の全体報告会

(3) 一般研究発表会

第一分科会

- ・青森県内酸性沈着汚染実態調査結果について
青森県環境保健センター 対馬典子

- ・新潟県における⁷Beによる成層圏O₃の降下量評価について

新潟県保健環境科学研究所 杉原 誠

- ・新潟市における建材中のアスベスト検査について

新潟市衛生環境研究所 大野耕栄

- ・新幹線鉄道車両の走行による家屋振動対策について

郡山市環境保全センター 菊地宗光

- ・家畜糞尿処理施設調査について

宮城県保健環境センター 浦山 清

第二分科会

- ・北海道沿岸のCOD濃度の推移と考察について

北海道環境科学研究センター 田中敏明

- ・雪谷川ダムの富栄養化に関する調査について
岩手県環境保健研究センター 八重樫 香

- ・シリンジニードル一体型固相カートリッジを用いた農薬類スクリーニング法について

新潟県保健環境科学研究所 種岡 裕

- ・化学災害発生時等の原因汚染特定における消防局と衛生研究所との技術的連携について

仙台市衛生研究所 東海敬一

- ・閉鎖性海域(松島湾)における水質改善について

宮城県保健環境センター 鈴木壽雄

■ 支 部 だ よ り ■	
---------------	--

九州支部の動き

1. 全国環境研協議会九州支部総会

第35回支部総会を開催し、11機関、21名の出席があった。会議概要は次のとおりである。

- ・期日 平成20年7月11日(金)
- ・場所 福岡市 福岡市保健環境研究所

(1)支部長表彰

試験研究業務の推進に多年にわたって功績のあった次の3名の方を表彰した。

- 北岡 宏道(熊本県保健環境科学研究所)
- 池浦 太莊(福岡県保健環境研究所)
- 足立 和治(大分県衛生環境研究センター)

(2)議事

- ①平成19年度事業報告及び決算報告について
- ②平成20年度事業計画及び予算(案)について
- ③各県市提出議題及び照会事項

- ・試験研究機関の今後のあり方について
- ・九州地方知事会政策連合項目「酸性雨観測体制整備の連携」に係る酸性雨調査について(平成19年度調査結果報告、第Ⅱ期実施計画の継続の承認)
- ・他の試験検査機関との連携について
- ・大気汚染監視装置等機器購入対策等について
- ・保健衛生、環境以外の行政部局との連携について

2. 平成20年度環境測定分析統一精度管理九州ブロック会議

- ・期日 平成20年8月6日(水)
- ・場所 長崎市 ホテルセントヒル長崎

検討員、環境省、(財)日本環境衛生センター及び九州各県・市の担当者計26名が出席し、調査結果の報告、特別講演及び質疑・討論を行った。

特別講演

「環境測定分析における砒素・セレン等の測定について」

講師：(独)産業技術総合研究所環境管理技術研究部門副部門長(兼)計測技術研究グループ長 田尾

博明

3. 第34回九州衛生環境技術協議会

- ・期日 平成20年10月9日(木)～10日(金)
- ・場所 長崎市 ホテルセントヒル長崎

九州各県・市13機関の122名が出席して、大気、水質、生物、衛生化学、細菌、ウイルス及び情報企画の7つの分科会に分かれ、調査研究・事例発表、照会・協議事項等について活発な討論・意見交換を行うほか、特別講演を行った。

特別講演

「生ごみリサイクル元気野菜づくり&元気人間づくり」

講師：NPO 大地といのちの会

代表 吉田 俊道

4. 九州・沖縄・山口酸性雨共同調査研究に係る検討会

- ・期日 平成20年5月29日(木)
- ・場所 福岡市 福岡県吉塚合同庁舎

九州地方知事会政策連合項目として実施している「酸性雨調査」について、九州支部会員に山口県環境保健センターを加え検討会が開催された。なお、解析結果の報告、意見交換及び今後の取り組み方針の検討が行われた。

5. 光化学オキシダントと粒子状物質等の汚染解明に関する研究平成20年度第1回九州グループ会議

- ・期日 平成20年8月19日(火)
- ・場所 福岡市 福岡市保健環境研究所

九州における光化学オキシダント高濃度に関する解析を行うため、九州支部全会員が国立環境研究所とのC型研究に参加し、九州グループとして活動しており、グループ会議を開催した。なお、解析結果の報告、事例紹介及び今後の取り組みについて協議が行われた。